

ダークリッジ

登録番号：第9399号

登録年月日：平成13年10月18日

登録者：(独)農業・生物系特定産業技術研究機構

育成者：山根弘康 山田昌彦 栗原昭夫 永田賢嗣 佐藤明彦 吉永勝一 平川信之 岩波宏松本亮司 角利昭 平林利郎 小澤俊治 角谷真奈美 岸

光夫 中島育子

来歴：「巨峰」と「301-1」〔「巨峰」×「ナイアベル」〕の交雑実生

育成地：広島県豊田郡安芸津町 ((独)農業・生物系特定産業技術研究機構果樹研究所ブドウ・カキ研究部)

特性

■栽培特性

樹勢はやや強く、「巨峰」とほぼ同様である。「巨峰」と同様に結果母枝先端の2芽が強く伸びる傾向が強い。結果母枝先端の熟梢の色は暗褐色で、登熟のしやすさは中位である。テレキ5BB台木で少し合負けが認められる。葉形は五角形、五片葉であり、葉の下面の毛の密度は中位で「巨峰」と同程度である。

花芽の着生は良好で、1新梢当たり2花穂を着ける。花は両性花である。発芽期の早さは中位でデラウェアより遅く、「巨峰」と同時期である。開花期は中位で「巨峰」とほぼ同時期である。花振り性は「巨峰」よりやや少ない。

「巨峰」と同様の剪定、結実管理を行うと300～400gの揃った良房を得ることができる。

■果実特性

大粒の紫黒色ブドウであるが、「巨峰」より2g程度果粒が小さく平均11～12g程度である。着色は「巨峰」より容易で、紫黒色に着色する。果粉は多い。果粒形は短楕円形である。

肉質は崩壊性と塊状の中間で「巨峰」に近いが、「巨峰」よりもやや硬い。糖度は「巨峰」と同程度、酸含量は巨峰よりやや高い。渋味はなく、「巨峰」に近いフォクシー香がある。果皮と果肉は「巨峰」よりもやや分離しにくい、果皮が厚く「巨峰」と同様に裂果はほとんど見られない。「巨峰」よりもやや脱粒しにくい。

果実成熟期は8月中～下旬で、「巨峰」とほぼ同時期である。日持ち性は短く「巨峰」と同じ程度である。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

黒とう病、晚腐病、べと病、灰色かび病などブドウの主要病害に対する抵抗性は中位で「巨峰」と同程度であり、「巨峰」に対するのと同様の防除を行えば目立った病害の発生は見られていない。

「巨峰」に準じた栽培管理を行うのがよい。ただし、「巨峰」より果粒重がやや小さいので果粒肥大期には十分な灌水を行うことが望ましい。

なお、ジベレリンなどによる種無し栽培法はまだ確立されていない。

■地域適応性

東北地方南部から九州までの地域で栽培が可能であり、西南暖地においても「巨峰」より紫黒色に着色しやすい。ただし、「キャンベルアーリー」より耐寒性が劣るため、東北地方の北部以北には適応しない。

(上野俊人)